

あなたの声を...

# こら

第68号

2016年8月

## 議会だより



◎審議内容 .....	2
◎総務民生常任委員会報告 .....	3
◎中学生議会 .....	4
◎一般質問 .....	5
◎町の元気もの .....	10



甲良町のキャラクター  
ココラちゃん

写真：小規模多機能型居宅介護  
ファミリーステーション甲良（小川原）

# 平成28年度 一般会計補正予算7542万円 防災センター設計業務委託に2000万円



28年6月定例会は、6月6日から13日までの8日間の会期で開催し、報告1件、承認6件、議案6件、発議4件、請願1件、その他2件の計20件を審査し、審査の結果、請願1件、および発議2件の計3件を否決、他はいずれも可決・承認した。  
一般質問は、6月6日に5人が行った。

## 審議内容

### 報告(1件)

○27年度繰越明許費繰越計算書(一般会計)  
1億1521万円を  
28年度に繰越

金等課税限度額17万円を19万円に、減額規定1人につき26万円を26万5000円に、47万円を48万円に改めた。

地方交付税 1億3821万円  
繰入金 △1億65万円  
【歳出】  
総務費 1692万円  
衛生費 △1188万円  
土木費 △1547万円

### 議案(6件)

○一般会計補正(28年度)  
税金横領事件調査費用  
505万円追加  
賛成全員

・地域密着型サービス  
運営委員  
指定地域包括支援  
センター運営委員  
・認知症ケアパス作成  
検討委員  
賛成全員

### 承認(専決処分6件)

○条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、固定資産税の非課税や減額適用の申告および町たばこ税に関する経過措置を定めた。

賛成全員

○福祉医療費

助成条例の一部改正  
県制度改正に伴う文言の整理等。

賛成全員

○水道会計補正(27年度)

【支出】

企業債償還金1000円  
建設改良費△1000円

賛成  
(建部、丸山、西川、宮崎、阪東、野瀬、山田裕、山田充、田中、岡田)

退席  
(西澤)

○一般会計補正(27年度)  
△2255万円

主な補正項目

○国民健康保険税条例の一部改正  
課税限度額52万円を54万円に、後期高齢者支援

町税 △5200万円

【歳入】

・食育健康推進委員  
・高齢者虐待対応  
チーム委員

○町道の認定  
一落窪川線(小川原字一落)彦根市高宮町字東川原)313.3mを町道認定。  
賛成全員

# 制定

## 子育て支援策として 子育て応援金支給条例

○子育て応援金支給条例の制定

(目的)

子育て世帯の出産直後にかかる経済的な負担を軽減し、安心して子どもを生み育てることができ、環境整備、少子化対策および子育て家庭の支援(支給対象児)

出生日に父または母が本町に住所を有し、新生児の住所を本町に有する者

(支給額)

出産祝い金として、新生児1人2万円

(適用)

28年4月1日

賛成全員

○28年度一般会計補正

7542万円を追加

主な補正項目

【歳入】

国庫支出金2500万円  
繰越金 2032万円  
町債 2690万円

【歳出】

民生費 1750万円

農林水産業費

3298万円

消防費 2000万円

賛成

(建部、丸山、宮崎、阪東、田中、岡田)

反対

(西澤、西川、野瀬、山田裕、山田充)

発議(4件)

○28年度一般会計補正予算の修正

予算総額から防災センター設計業務委託2000万円を削除する修正案

賛成

(西澤、西川、野瀬、山田裕、山田充)

反対

(建部、丸山、宮崎、阪東、田中、岡田)

○副議長の不信任決議

賛成

(建部、丸山、宮崎、阪東、田中)

反対

(西澤、西川、山田裕、山田充、岡田)

※賛成5、反対5の可否

同数のため議長裁決により可決

○公金横領事件の早期告訴ならびに事件の全容解明と再発防止のための第三者による調査委員会設置を求める決議

賛成

(西澤、西川、野瀬、山田裕、山田充、岡田)

反対

(建部、丸山、宮崎、阪東、田中)

○甲良町内における防災課題に関する調査・検討特別委員会設置に関する決議

賛成

(西澤、西川、野瀬、山田裕、山田充)

反対

(建部、丸山、宮崎、阪東、田中)

○『安全保障関連法』の廃止を求める意見書」を、町議会として関係機関に提出するよう求める請願

賛成

(西澤、西川、野瀬、山田裕、山田充)

反対

(建部、丸山、宮崎、阪東、田中、岡田)

請願(1件)

○『安全保障関連法』の廃止を求める意見書」を、町議会として関係機関に提出するよう求める請願

賛成

(西澤、西川、山田裕、山田充)

反対

(建部、丸山、宮崎、阪東、野瀬、山田裕、田中、岡田)

### 総務民生常任委員会報告

6月9日

委員会に付託を受けた議案1件を審査した結果、条例制定1件を可決した。  
審議内容(抜粋)は、次のとおりです。

#### ○子育て応援金支給条例

○ 必要な事項は規則で定めるとあるが、規則の骨子はどのような中身か。

○ 支給額や支給要件、申請期日等を定める。

○ 出産祝い金を支給する本条例は、子育て支援策の第一歩か。

○ 子育てや保育の環境整備など、出産後の継続的な支援が必要であり、おむつ代やミルク代の補助についても検討していきたい。

○ 税金などの滞納世帯であってもペナルティを課すことなく、無条件に支給しては。

○ 納付誓約などで計画的な納付がある場合は支給可能としたい。

○ 支給額2万円の根拠と近隣の状況は。

○ 彦根市や愛荘町は支給なし、豊郷町は第1子1万円、第2子2万円、第3子5万円、多賀町は第3子5万円、第4子以降10万円を支給。

○ 本町では子どもに差をつけず、第1子から1人につき2万円を支給する。

# 中学生議員11人が 身近な問題について行政に質問!

## 第11回 中学生議会 中学生目線で鋭く質問

7月7日、中学生議会が開催され、選出された中学生議員12人が村岸選管委員長から当選証書を付与された。

議長は、丸澤 颯君が務め、11人の一般質問に課長補佐らが答弁を行った。主な質問は次のとおり。

(西山 聖議員)

□ 町の特産物は。また、広く県内や全国に知らせていける特産物を増やすには。

□ 道の駅が完成し、観光客などの立ち寄りスポットになっている。今後は、緑豊かなせせらぎの町の良さをいかし、民泊などで集客しては。

□ 地域の人や幅広い世代の人と交流できる場所や催しの企画は。

(西澤 啓太議員)

□ 彦根市と合同の給食センターになった理由は。また、おいしくないときも多いので、メニューの改善をしてほしい。

(古川 聖悟議員)

□ 町民の健康維持増進や体の不自由な方の運動機能回復のため、屋内型の運動施設を検討してほしい。



(上田 夢歩議員)

□ 町の活性化のために、大型の商業施設を誘致できないか。

(阪東 駿介議員)

□ 町内や郡内に高校誘致の動きはあるか。

(西山 和志議員)

□ 町内に病院を誘致することはできないか。特に皮膚科や眼科があれば便利だと思うが。

(宮尾 昂希議員)

□ 空き家を活用し、県外から若い人に移り住んでもらえる対策は。

(阪東 大志議員)

□ 中学校では、毎年2回、学校周辺の清掃活動を生徒で行なっている。みんなが気持ちよく生活できる環境づくりのため、町でもボランティアを呼びかけて活動してほしい。

(野瀬 虹羽議員)

□ 中学校の新築・改築の予定は。特にトイレの洋式改善をしてほしい。

□ 図書館に新刊、話題の本を入れてほしい。

(野村 侑生議員)

□ 熊本県など、大きな地震による被災地への支援体制は。

(阪東 海斗議員)

□ 中学校前の道路は交通量も多く、危険なため、歩道の設置や自転車専用道など安全な通学道路に改善してほしい。

書記(岡田 明香里 書記)

(大野 みなみ 書記)

今年は、観光や民泊などで町内への交流人口を増加させること、若者定住・移住に取り組むことなど、町の最優先課題として、町や議会が懸命に模索している課題を鋭く着眼点で質問、提案してくれました。

町に対する関心や愛着を深め、今後の学習に生かしてくれることを期待しています。

一般質問

# 町政のここが 知りたい！聞きたい！

## Q & A



阪東 佐智男 議員



グリーンベルトの施工が完了した  
小川原からの通学路

### 安全な

#### 通学路のために

**Q** 一昨年、通学路のグリーンベルト標示を提案し、昨年から本格的に施工されているが、まだ完了には至っていない。今後の計画および完了見込みは。また、現在の進行状況は何%か。

**A** 建設水道課長  
グリーンベルトの施工は、東学区3路線、西学区2路線を計画しており、全工程3460mの内、27年度は1910m、今年度は1100mを実施する予定。残り450mについては、来年度で完了する予定であり、28年度末で約87%が完了となる。

**Q** 中学校の自転車通学に対する規則と指導は。

**A** 学校教育課長  
自転車通学に関する規定を設け、入学説明会などで新入生や保護者に対して説明をしている。

毎日の指導の中で、安全な自転車の乗り方をするよう、声かけを実施し、

登校時は中学校近くの横断歩道2か所で指導を行い、下校時は各地域へ職員の半数が出かけ、安全確保、安全な乗り方について指導している。雨の日には、傘差し運転をしないよう、PTAで購入

いただいたレインコート

の貸し出しを行っている。

また、生徒指導通信により、安全な自転車の乗り方、改正道路交通法による危険行為などの指導も行っている。この夏には警察と連携して、交通安全教室も開催する予定である。

**Q** 自転車事故による多額の賠償請求が相次いで発生しており、県議会で

も自転車損害賠償保険への加入を盛り込んだ条例が、全員一致で可決されている。

中学生の自転車通学における保険加入状況は。

**A** 学校教育課長  
全生徒を対象に中学校

団体自転車総合保険（PTA賠償責任保険）に加入しており、対人・対物

補償で、1事故につき、限度額は1億円となっている。

### 情報漏えいに関する セキュリティ対策は

**Q** 3月議会でマイナンバーに関する行政手続等

における条例が否決になり、総務民生常任委員会

や本会議で3月中にセキュリティポリシーを作

成するとの説明であったが、その後、これらは作

成されているか。

**A** 企画監理課長  
セキュリティポリシー

は、3月末で作成済みであり、組織が実施する情報セキュリティ対策の方針案の行動計画として、職員全体のセキュリティ、ルールを定め、どのような情報、資産をどのような脅威から守るかという基本的な考え方、体制、方針、基準を定めた。

職員が運用するマニュアルについては、9月をめどに運用手順やハンドブック、内部監査の手順書を作成する予定。

また、5月1日にセキュリティに詳しい若手職員で委員会を立ち上げ、本町に合った仕組みを作るよう、動きだした状況。

### 【その他の質問】

◆町の不祥事について

◆農業施策の考え方は

一般質問

町政のここが知りたい！聞きたい！

Q & A



西川 誠一 議員

図書館東側の

ビオトープの活用は

Q 公園を含めビオトープが荒廃している。害虫の発生源ともなり、安全面にも問題がある。整備と今後の利用方法は。

A 町長 当初は、親水公園として犬上川沿岸土地改良区

熊本地震に学ぶ

Q 耐震診断の状況は。

A 建設水道課長 12年度の耐震基準で調査すると、全戸数2477戸の内、昭和55年以前に建築された耐震性不十分が1026戸で耐震化率は58.6%。耐震診断は27年度末で75戸が済んでいる。

Q 熊本では震度7の前震・本震があり、12年度の耐震基準が見直される

A 建設水道課長 今後町のホームページや広報等で啓発したい。

税金横領事件の

現金納付額は

Q 役場窓口で現金納付された年度ごとの額は。

A 税務課長 税務課・会計室納付の他、銀行・コンビニ納付もあり、内容精査には時間がかかる。

観光事業発展を

Q 町は三大偉人を宣伝しているが、観光客の年間来場者数は。

A 産業課長 また、観光客増加に向けた支援策は。三大偉人の集計はないが、西明寺と道の駅を併せて26年が30万人、27年が27万人。観光案内所を開設したので、更にPRに努めたい。

A 町長 三大偉人を顕彰するだけでなく、観光地のPRとして高虎ハウスを整備

Q 192件が調査中だが、全体解明の用途は。

A 税務課長 特命班は専従で調査しているのか。

A 税務課長 特命班は通常業務と並行して作業しており、192件の証拠書類作成は7月くらい。なるべく早い時期に被害額を確定し刑事告訴したい。

出町・野口交差点幅はいつになるのか

Q 拡幅工事の進捗状況はどうか。

A 建設水道課長 今年度は野口交差点の電柱移設をし、一部供用開始の予定。来年度以降に右折だまりに向けて用地買収をしていくが数年かかる見込み。出町交差点は来年度以降になる。

Q 健康面や労働負荷が心配だ。調査専門チームを設置しては。

A 税務課長 課員がストレスやプレッシャーの中で作業している事は強く認識しているが、臨時職員の配置で対応している。

一般質問

# 町政のここが 知りたい！聞きたい！

## Q & A



建部 孝夫 議員

### 役場組織の体質改善と職員の 資質向上・職場規律の確立を！

**Q** 町役場のイメージ刷新と体質（組織）改善は。

**A** 総務課長

間違いのない行政事務をしていき、職員が100%あるいは120%の仕事をする必要がある。

**A** 総務課長

定期異動は必要と思う。議員の提案を含めて目安を作りたい。

**Q** 職員組織の少数精鋭化を志向すること。

**A** 総務課長

退職者の不補充と2分の1補充で、30%の減員を図ること。職員の仕事率（力）を100%にすれば可能と思うが。

**A** 総務課長

職員の持てる力を最大限発揮させ、人口減少に伴い職員数を減らすことも必要と考える。

**Q** 職員の待遇（給与）改善は必要ではないか。

**A** 総務課長

県下の水準は満たすべきであり、「同一労働・同一賃金」を原則に、嘱託・臨時職員、保育士の給与改善が必要では。

と考えるが。

随（適）時

**Q** 職員の定期異動は。

**A** 総務課長

①現金・入札に関わる所属 3年  
②一般事務職3～6年  
③保育士 5・6年  
④専門職（技能労務職）

**A** 総務課長

正職員については、県下の最下位であるが、嘱託職員等は他町に比べると高い数値にある。

### しあわせの里・こころの創生を！

#### 人口減少対策「まち・ひと・こころの創生」は。

**Q** 出生率を上げるには。

**A** 保健福祉課長

安心して生み育てる環境整備が必要。

**Q** 通勤可能範囲内への就労を支援するには。

**A** 産業課長

今後、検討していく。

**Q** 健康で長生きするには。

**A** 保健福祉課長

健康長寿に取り組む。

**Q** 多出産を奨励し、そのお祝いと子育て支援のため「こ出生祝い年金」を創設しては。（30万円から100万円を10万円の年金式給付）

**A** 保健福祉課長

健康長寿に取り組む。家族愛、郷土愛を育み、賢く（学力・知力）育てるには。

**A** 保健福祉課長

出生祝い金1人2万円を支給し、更に支援策を検討したい。

**Q** 自由・快適な住環境、生活空間の特別自治区（団地）を設置しては。

**A** 建設水道課長

住宅用地については、調査業務に着手したい。自治区については課題としたい。

**Q** 甲良の宝・子どもに、家族愛、郷土愛を育み、賢く（学力・知力）育てるには。

**A** 学校教育課長

郷土に愛着と誇りが持てる子どもの育成をめざしている。

**Q** 学力については、教職員の指導力向上と、子どもたちが主体的に学べるよう、授業の改革に取り組んでいる。

**A** 学校教育課長

※しあわせの里・こころの創生は、総合行政・生涯福祉の極みです。地方創生は、あらゆる行政施策をトータルに総合的に推進することです。また、生まれてから天寿を全うされるまで生涯にわたり福祉施策を講じなければなりません。これには、大変なお金（予算）が必要です。議員も行政も、知恵と力を出し合って、何としてもこうらの創生を成そう！

一般質問

# 町政のここが 知りたい！聞きたい！

## Q & A



山田 裕康 議員

### プレミアム商品券の 超過購入に対するけじめは

Q プレミアム商品券の発行枚数と使用枚数は。

A 産業課長  
5万2000枚発行し、使用枚数は5万1784枚。

Q 今後、プレミアム商品券の取り扱いはい。

A 産業課長  
現在、計画はない。

Q プレミアム商品券の購入に際し、2冊を超えて購入した北川町長と建部議員は、超過購入分の返還をされたのか。

A 産業課長  
返還されていない。



### 南部工業用地造成 事業計画の今後は

Q 西明寺が反対ということ、それでも、この計画を100%進めることができるのか。100%進めることができるのか。

A 企画監理課長

同意がなくても制度的には、進めていくことはできる。10年ほど前まで

は、同意行政ということ、何でも同意をもらうということだったが、国交省の方がもう同意が必要ないということだった。

A 町長

我々としては、共存共栄ということを大前提に、できることなら西明寺に100%のご理解をいただきたい、事業に取り組んでいきたい。法律だから、強

### ごみ焼却場 建設計画は

Q 候補地は、何か所になつていいるのか。

A 住民課長

応募されているのは、1か所で、公募中なので地域名は公表されていない。

Q 池寺地区が候補地になることを西明寺が反対されているのか。

A 町長

本町は、候補地として名乗りを上げることはない。

※現時点で、本町へのごみ焼却場建設計画の可能性はなくなりました。

### 私文書偽造問題の 再発防止策は

Q 再発防止に向けての取り組みは。

A 住民課長

福祉医療費高額療養費請求の事務について、すべて一覽表にして、管理職が業務を把握し、申請は本人署名、押印を基本にしている。

Q 問題以後、机やロッカーのチェックは、行なっているのか。

A 総務課長

役場では、机、ロッカーの管理についての決まりがなく、今後の防止策について早急に取り組んでいきたい。

※問題から何年も経っているのに、まだ、そのようなチェックをしていないのは、残念であり、早急に実施していただきたい。

一般質問

# 町政のここが 知りたい！聞きたい！

## Q & A



西澤 伸明 議員

### 南部工業団地建設計画が 真に人口減少対策になるのか

Q

南部工業団地計画について、私たちは工業団地造成、工場誘致全般を否定するものではない。工業団地に関しては需要を無視して呼び込み方式などは税金の無駄遣いになると指摘し、工場誘致にあたっては公害企業でないこと、地元雇用に貢献でき、他産業育成にも波及効果があるもの、誘致のための特別優遇策を行わないことなどの条件を提起している。

Q

今回の南部工業団地計画に関しては、大変問題が大きく、疑問が浮かんでくる。危ういものを感じる。計画の進め方についても問題点がある。大林組から寄付を受けた後、いくつかのアップローチがあり、中間デベロッパーに委託し、南部

A

工業団地として開発すると公表したのは昨年の12月議会が初めて。いきなり業者選定、支援業務委託費49万7000円を含む補正予算を提出された。質問して初めて、この49万円を認めれば、工業団地計画全体に進むのだと説明された。行政と議会が状況を共有し、町民とともに人口減少問題に正面から取り組もうという誠実な姿勢は感じられない。12月議会での議案は否決されている。

A

企画監理課長  
26年度に20歳から40歳の若者を対象に実施した町民意識調査の中で「甲良町に働く場所があればよいと思いますか」の設問に「思う」と回答された方が6割以上おられ、甲良町まち・ひと・しごと総合戦略推進委員会、同本部の議論で、雇用が生まれ、多様な業種確保のための企業誘致と地元企業の支援など、企業誘致も有効であるとの意見を挙げて、掲げた。

A

企画監理課長  
北落工業団地3社で現在72名、北海製缶は15名、ユニバーサルが103名の実績だ。町としては1000人規模の企業立地を進めている。

丸投げにならない担保は。

④ 職員による公金着服事件解決の見通しもなく、住民合意が整わない中で計画を進めるべきではない。

など質問。

税金着服事件を一日も早く司直の手に委ねることを求め、背景と全容解明について質問。

◆人口減少対策と地方再生の視点——克服するエネルギー源は住民の主権者意識にかかわり、誇りであり、それを引き出す町政の温かい人間味ある施策だと提起し、保育料の軽減策など質問。

Q

進出する工場は、大部分、全てではないが、本社または旧来の従業員を連れて移転してくるのが実態だ。多賀の工業団地の場合も、同じことで地元雇用が増えたとは聞かない。多賀町も

Q

【その他の質問】  
◆南部工業団地計画では、  
① 子育て応援の強化、町政における不正の根絶、同和対策事業の公正な解決などが最優先課題であると指摘。

②

自然・農業との調和が必要。

③

中間デベロッパーに

「こんにちは!!」

「樋口ひぐち 訓民くにたみ(尼子)」です。



私は、尼子セブンイレブン前の信号交差点で、5年くらい前から当時の小学校の校長先生と約束し、登校時のスクールガードをしています。毎朝6時40分から8時15分まで、頭を下げて元気に朝の挨拶を声かけし、安全リーダーとして、子どもたちが安全に横断歩道を渡れるように心がけています。

また、月に1回、小川原・呉竹・下之郷の通学路についても順番に巡回しています。

立っていて一番困るのは、風や雪の時。傘をさせないので、防寒具などを着て立っています。手に持っている横断旗は、尼子の高橋さんから、雨に濡れても軽い布を10枚いただき、そのうちの2枚を貼り合わせて、手作りした横断旗です。

その他にもカーブミラーの点検として、ブリヂストンの協力依頼を受け、毎年一回、西学区のカーブミラー磨きを行っています。たくさん本数があるので、なかなか大変な作業です。

最後にお願ひになりませんが、老人会の方や、時間に余裕のある方は、ぜひ週一回でもいいので、誰も立っておられない場所などに立ってもらえると助かります。

子供たちの安全を一緒に守って守ってもらえれば、これほど嬉しいことはありません。未来ある子供たちが安心して登校できるように、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



子どもたちが元気に安全に登校するのを  
毎朝見守る樋口さん(尼子セブンイレブン前交差点)

編集後記

せせらぎ

今年も、農家が丹精こめられた近江甲良米がもうすぐ収穫の時期となりました。

食べるとは生きる上の基本であって、知育、徳育及び体育の基盤となるものです。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することが出来る人間を育てることが大切な役割だと思います。

「いただきます・ごちそうさま」の食事の挨拶は国により無いところもあるようですが、日本では天地の恵みと多くの人々の働きに感謝して、生命のもとをつつしんでいただきますから、自然に挨拶になったと聞きます。

家庭では、お母さんが食事を毎日作ってくれるから、自身や子供たちが元気でいられることができます。

頑張り屋の身近なお母さんをイメージすることで、多くの人々の働きに感謝が湧きます。

お母さんもまた、もっとおいしい食事を作ろうと真心こめて料理をするようになります。

食卓はさらに和やかに家族の健康、更には心の健康まで育んでいくこととなります。

阪東 佐智男